教育目標:よく考える子 思いやりのある子(重点目標)

体をきたえる子「花と緑と笑顔の学校」八王子市立横山第二小学校 令和7年(2025年) 10月10日(金)



地域運営学校(コミュニティ・スクール)

横二小だより

~今日の学びに喜びを感じ、明日に期待を抱く学校~



令和7年度 学校評価アンケート〔保護者〕・全学年

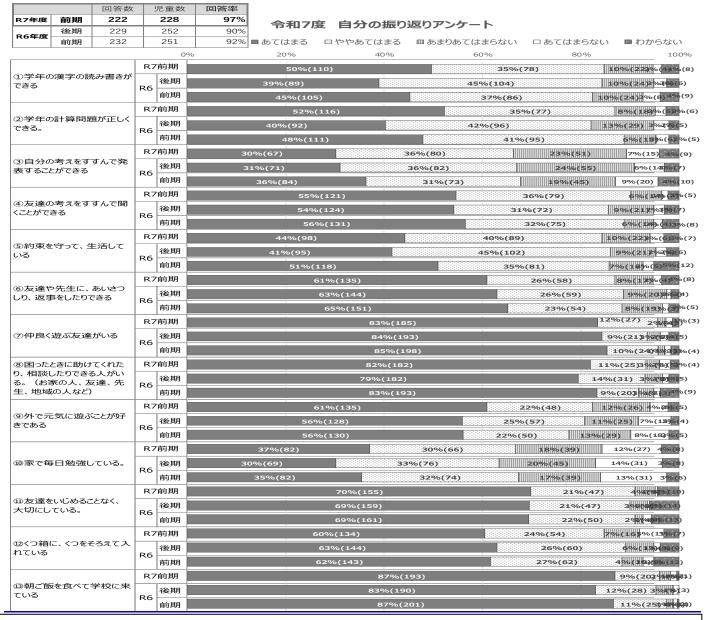
	回答数	児童数	回答率
フ前期	171	228	75%
R6後期	144	241	60%
R6前期	164	238	69%
	= t T/+=	- フ □ ♪	かちてけ

■あてはまる 🛘 ややあてはまる 🖽 あまりあてはまらない 🗘 あてはまらない 🗘 わからない

	学校に関す	(ること) 		0		60% 80% 100%
_		学校の教育方針を達成するための教育目標	R7	前期	57%(97)	37%(64) 5%(8)%(4
1	教育方針	や重点目標を知っている。	R6	後期	54%(78)	40%(57) 4%(6)%(%)
				前期	51%(83)	40%(66) 6%(10)
2	特色ある	学校が力を入れて行っている取り組み (学級活動、たてわり班活動などの特別活動、地域と連携	R7	前期	54%(92)	44%(75) 2%(4)
	学校 した郷土学習、一部教科担任制などの学力	した郷土学習、一部教科担任制などの学力向	R6	後期	55%(79)	42%(60) 1%(2)1%(2)
		上)について知っている。		前期	51%(84)	41%(67) 5%(9) 2%(
	小中一貫	本校が、横山中学校や散田小学校と一緒に行う	R7	前期	57%(97)	33%(57) 8%(13)1%(2)
(3)	教育	取り組み(三校同時開催の引き渡し訓練、合同たてわり班によるクリーン作戦やあいさつ運動等)について知っている。	R6	後期	50%(72)	35%(51) 11%(16) 2%(5%
	3213		IXO	前期	46%(76)	35%(57) 10%(17)6%(10)%(
			R7	前期	67%(114)	31%(53) 19%(19
4	安全教育	学校は、子供たちが安心・安全に過ごせるように、 避難訓練などの安全管理に取り組んでいる。	R6	後期	65%(94)	31%(45) 19%(19)
			IXO	前期	57%(94)	37%(60) 3%(%)
		学校は「ふれあい月間」等を通して、子供が自分 の大切さ、他の人の大切さを認め、行動すること ができるような教育を進めている。	R7	前期	50%(86)	42%(71) 4%(6) 5%
(5)	人権教育		R6	後期	48%(69)	45%(65) 2%(3)4%
			RO	前期	41%(68)	46%(76) 5%(9)(10)
		学校は、いじめの未然防止への取組、いじめの早	R7	前期	49%(83)	41%(70) 4%(6)(4) 5%
6	いじめ防止	期発見、早期対応等、いじめを許さない学校づく		後期	44%(64)	43%(62) 8%(11)%(7)
	への対応	りに取り組んでいる。	R6	前期	48%(78)	43%(70) 2%(/3/3%(9)
			R7	前期	61%(104)	35%(59) 2%(4)3
Đ	学級経営	子どもの学級は、授業や学校行事に意欲的に取り組むよう指導が行われている。		後期	63%(91)	32%(46) 19%(1)%
ı			R6	前期	59%(96)	37%(61) 3%(60)
			R7	前期	64%(110)	32%(54) 194(10)4
8	学習指導	学校は授業において、説明、板書、話し合い活動、ICT機器(学習用タブレット端末・大型テレビ等)の活用等の工夫に取り組んでいる。		後期	69%(100)	28%(41) 1960
	3 113143		R6	前期	66%(108)	31%(51) 1%(2)
			R7	前期	55%(94)	40%(68) 2%(4)5
9	適正な評	学校の子供の学習活動に対する評価 (子どもの 良さや頑張りを認める等) は適切・公平である。 学校は、子どもたちがより良い学校生活を送れる	117	後期	66%(95)	29%(42) 2%(41)
	価		R6	前期	57%(93)	36%(59) 3%(55)205
			R7	前期		
100	生活指導	ように、子どもの生活指導(毎月の生活目標、 挨拶・返事、靴箱の整理、きまりを守ること等)に	K/	1	57%(98)	38%(65) 1%(20)
10			R6	後期	53%(77)	41%(59) 1%(%)7)
		取り組んでいる。 学校は、子供たちにキャリア・バスホートの取組を		前期	52%(86)	41%(67) 4%(79)(4
_		行うなど、目標を持ち、自分の良さを伸ばすこと	R7	前期	56%(95)	41%(70) 2%(3)
11)	キャリア教育	や、これからの生活に必要な礼儀を身に付けさせるなど、子供の生き方や将来についてのキャリア教育を行っていることを知っている。	R6	後期	57%(82)	40%(58) 1%(1)
				前期	57%(94)	38%(63) 2%(40)
12	琛児詮伽	学校は、学習環境の整備や清掃活動に取り組ん でいる。	R7	前期	49%(83)	46%(78) 1%(323)5
			R6	後期	57%(82)	35%(50) 3 %(4) %(7)
			110	前期	48%(78)	43%(71) 3%(502)(8)
	情報提供	学校は、保護者に対して適切に情報(学校だより、学年・学級だより、ホームベージ、保健だより、 学校行事、個人面談、保護者会、学校公開 等)を提供している。	R7	前期	66%(113)	33%(56) 1%(
13)			R6	後期	64%(92)	33%(48) 2%(8
			IXO	前期	59%(97)	37%(60) 3%(50
	4+ 1711	学校は、特別支援教育(特別な支援を必要と する子供に対しての教育)に取り組んでいる。	R7	前期	39%(67)	40%(68) 3%(5) 18%(31)
14)	特別支援 教育		D.C.	後期	47%(68)	37%(53) 3%(4) 13%(19)
	教用		R6	前期	43%(70)	37%(60) 4%(%) (2) 15%(25)
		学校では、分かりやすい授業が行われている。	R7	前期	61%(105)	32%(55) 2%(%)
15	授業評価			後期	60%(86)	35%(50) 1%(2)6)
			R6	前期	57%(94)	38%(63) 1%(10)
r =	子供に関す	ステレ】			■ あてはまる □ かやあてはまる □ あま! % 10% 20% 30% 40%	りあてはまらない □あてはまらない □ わからない 50% 60% 70% 80% 90% 100%
	, MCM9		D.Z	前期		
	学校生活	自分の子どもは、仲良く学校生活を 送っている。	R7		61%(104)	37%(63) 1996(3)
1)			R6	後期	59%(85)	35%(51) 3%(60)
				前期	62%(102)	31%(51) 4% (m)(4)
2	学校での 学習	自分の子どもは、基礎・基本 (読み・ 書き・計算) の学習を身に付けている。	R7	前期	49%(84)	45%(77) 5% 4% (0
			R6	後期	45%(65)	41%(59) 10%(14)4(4)2
				前期	43%(70)	45%(74) 10%(163%)
3	家庭での	自分の子どもは、家庭学習を進めている。	R7	前期	32%(54)	41%(70) 21%(36) 6%(11)
	家庭での 学習		R6	後期	35%(51)	37%(53) 22%(31) 5%(%)(2
	丁目		K6	前期	32%(53)	41%(67) 20%(33) 7%(11)
	ID #F #	<u> </u>	R7	前期	37%(64)	52%(89) 8%(14%(4
4	児童の	自分の子どもは、様々な行事を通して 自分の力や集団の力を発揮している。	F.	後期	47%(67)	42%(61) 8%(11946)2
	活動		R6	前期	34%(56)	48%(79) 12%(19)(49)(8)
			R7	前期	22%(37) 2288888846%(78) 25%(43) 3%(5%(8)
5)	保護者の 協力	保護者として、学校の教育活動に支 援・協力をしている。	R7	前期 後期	22%(37) 33333333346%(22%(32) 3333333341%(5 5	-

「学校に関すること」の調査項目では、全 15 項目中 9 項目で、令和 6 年度後期よりも肯定的評価(「あてはまる、ややあてはまる」の合計)のポイントが上がりました。また、13 項目で 9 割を超える肯定的評価でした。その中で、「③情報提供」が最も評価が高く、発信した本校の教育活動をご覧いただくとともに評価していただき、心から感謝しています。「②特色ある教育活動」や「④安全教育」も肯定的評価が高く、引き続き努力してまいります。一方、「③小中一貫教育」については、4.7 ポイント肯定的評価が上がったものの、依然否定的評価が 8.8 ポイントと高く、今後、横山中学校グループとして育てていく児童・生徒像を散田小も含めた 3 校で共有し、教職員や教育課程の連携・一貫性を確保し、中学校への学習面・心理面での接続支援を行っていきます。「分からない」という回答が最も多かったのは「⑭特別支援教育」でした。各教室で取り入れているユニバーサルデザインの視点からの環境整備や授業の進め方、あさかぜ(特別支援教室)、副籍交流等で行っている取組についての情報を発信していくことで、皆様の御理解を得られるようにしていきます。

また、今回 |7| の回答が得られ、児童数に対する回答率が 75% (家庭数に対する回答率は 87.7%) と多くの御家庭の御協力を得られることができました。保護者の皆様の御協力に心から感謝申し上げます。



全 13 項目中 9 項目で、令和 6 年度後期を上回る肯定的評価が得られました。「⑦仲良く遊ぶ友達がいる」では肯定的評価が 95.5%を超える高い評価となりました。「⑪友達を大切にしている」の項目でも肯定的評価が 91%と高く、学校重点目標である「思いやりのある子」が具現化されていると捉えられます。「⑬朝ご飯を食べている」も 95.9%と肯定的評価が多く、御家庭での御協力に感謝いたします。「⑩家庭学習」や「③自分の考えを発表」に関しては否定的評価が高くなっています。家庭学習の習慣化や、児童が自信をもって学習に臨めるよう、引き続き授業改善に取り組んでまいります。

[※]その他、自由意見でいただいた意見も今後の教育活動の参考にさせていただきます。貴重なご意見ありがとうご ざいました。